



# 信濃小中学校だより そよげわか竹

## 超越を目指して…児童生徒会の挑戦

信濃小中学校が開校した年の初代9年生たちは、小中一貫校で活動する児童生徒会という未知の存在に悩み苦しみながらも、真つ暗闇の中から後輩たちが進むべき道に一筋の光を差し込んでくれました。そして昨年度、ついに初めて「最高学年としての6年生を経験していない9年生」が児童生徒会を担いました。ハンディキャップなんか

じゃない、「本気」でやればできないことなんてないんだということを、身をもって示してくれました。しかしそれは当然だったのかもしれない。なぜなら、彼らは6年生のときから「9年生」を見てきているからです。6年生のときから「9年生」を学んできているからです。これはきつとデメリッ

い壮大な「9年生育成システム」なのではないでしょうか。開校した年の1年生が9年生になるところには、実に8代もの9年生の姿を目の当たりにした9年生が誕生するのです。



9年生を送る会 9年生への思いを劇に



9年生にプレゼントするアルバムの製作



9年生を送る会に向けてムービー作り

信濃小中学校も開校5年目を迎えました。初代9年生が残してくれた大きな大きな土壌を、歴代の9年生たちが耕し、種を蒔き、花を咲かせ、そしてまた新たな種が生まれていく…。その新たな種こそが、今年度の児童生徒会ではないかと考えています。今年度の児童生徒会のスローガンは「超越」全校で超える、今までの歴史「超越」。「笑顔」「絆」「日常生活」…、代々の9年生たちが大切にしてきたものは、これからもつなげていきたい。でも今まで通りではなく、これまでの歴史を越えていきたい、新しい信濃小中学校を創りあげていきたいという願いを「超越」の2文字に込めました。超越していくために、今年度の児童生徒会が重点にしているのは、他学年との交流やふれ合いです。他学年同士の距離が近づけば、様々な活動をもっと全校で取り組んでいけるはず。全校で取り組んでいくことができるようになれば、今までできなかったことや考えもしなかったことができるようになるのではないかと、という思いからです。児童生徒会を引き継いだ昨年度の3学期にも、「縦割り清掃」や「縦割り交流会」など、積極的に1、2、3学年が関わり合って、他学年との壁をなくしていくとする取り組みが見られました。今年度の9年生たちも、毎年更新され向上していく「9年生育成システム」



9年生を送る会 9年生への思いを劇に②

9年生を送る会 思いを扉に込めて…



引き継ぎ後、初めての委員会



先輩との児童生徒会引き継ぎ会



同じ目線で… 縦割り交流会



インフルエンザのため、放送で児童生徒総会を実施



互いの姿から学ぶ縦割り清掃

によって育った9年生です。変わっていくことも必要だということを無意識のうちに自覚しているのかもしれない。彼らもまた新たな種は、一体どんな新しい花を咲かせていくのか。その花からどんな種が生まれ、つながっていくのか。平成28年度児童生徒会の挑戦が始まります。